

“京都に米軍基地はいらない” との声を広げましょう

2014年12月から京丹後市経ヶ岬の米軍基地が本格稼働しようとしています。京都に米軍基地をつくってほしくないとの声をよそに、「日本の防衛のため」との安倍内閣の説明に納得がいかないとの声が高まっています。まず、「日本の防衛のためだったら、どうして自衛隊ではないのか？」という疑問に答えられないからです。

住民の不安や不信は一層強くなってきています。こうした中、問題があれば撤回を求めるとしてきた京都府知事も、問題を先送りしています。9月に出された請願には、知事与党がすべて反対し否決されました。各政党の対応を含めその時の賛否を一覧にしました。

戦争のための 米軍基地がどうして 京都に必要!?

政府与党や野党の多くも、「日米同盟」のもと「抑止力」「日本の防衛のため」という口実で米軍基地を認めようとしています。しかし、現実には日本の防衛に必要な以上の米軍がいて、しかも、直接の目的は日本防衛ではないという部隊がたくさんいます。これは、アメリカ国防省自身が認めていることです。日本に米軍基地がたくさんあるのは、日本がお金をたくさんだし、基地も作ってくれる（沖縄・辺野古新規地の場合1兆円の血税が使われる）、米兵の特権も確保されているなど「居心地」もよく、米側に利が大きいからです。

Xバンドレーダー は、アメリカ本土 防衛が主目的

京丹後市経ヶ岬の米軍基地は、アメリカが世界展開しているレーダー基地のひとつです。アメリカ本土への核ミサイル防衛のためのレーダー基地です。アメリカ議会では、「アメリカ本土の防衛のため」（2013年5月9日アメリカ上院軍事委員会）と証言しています。1000キロ先の野球のボール大を見分けることができる性能を持つと言われるレーダーは、ミサイルを迎撃するために配備されます。アメリカがイラク戦争で真っ先に攻撃したのは「敵国」のレーダーでした。そのため、レーダー設置による危険性は高まります。

米軍基地への協力の撤回を求める府議会への請願（同主旨で539件）に対する各党の態度（2014年9月府議会）

京丹後市経ヶ岬への「Xバンドレーダー」（TPY-2レーダー）設置の中止と撤回を国に求める意見書採択に関する請願（同主旨のものを含め計539件）

	賛否
自民党	×
民主党	×
公明党	×
創生	×
維新	×
共産党	○

【請願に反対した時の各会派の理由（発言要旨）】

自民党（能勢議員）「日本国民をミサイルから守るためには、この施設は、私は大切な施設だと思っていますし、国民の命を守るそういう施設であります。」

民主党（岡本議員）「経ヶ岬のその基地に攻撃を仕掛ける可能性は極めて低い。抑止力が高まる。設置によって先制攻撃になるようなものではない」

公明党（村井議員）「日本の防衛のために利するものが多い。危険を晒す最前線基地となるとかいうことはあたらない」

米軍基地いらない京都府民の会

京都府民の会は、京都への米軍基地設置に反対して2013年5月に結成されました。この基地の危険性を問うとともに、住民の安全安心対策を求めています。京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
電話 075-801-2308 FAX075-812-4149
URL : <http://www.labor.or.jp/sohyo/xband-home.html>

集団的自衛権行使容認で日本は 巻き込まれる!

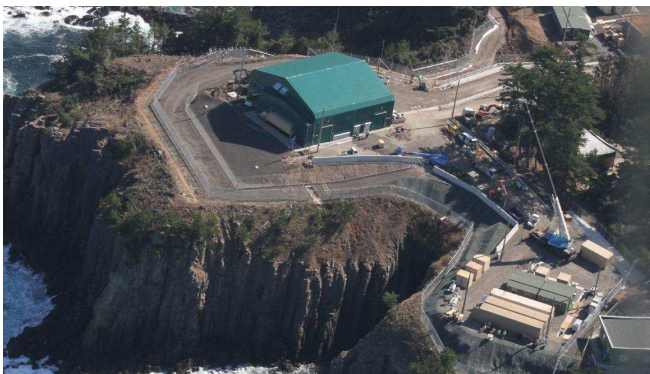
日本は「専守防衛」と言ってきましたが、安倍政権は他国でも武力行使できるようにしようとしています。7月1日の集団的自衛権行使容認の閣議決定はまさにそれに該当し、海外でも自衛隊が武力行使できるようにしようとしています。戦争できる国への転換です。安倍首相自身は「戦争する国にはしない」と言っていますが、真実をごまかすのは、逆にこの決定がいかに危険なものかを示しているに過ぎません。Xバンドレーダーは、ミサイルを補足して迎撃するためのもので、安倍首相はアメリカに飛ぶミサイルを集団的自衛権行使で打ち落とすとしています。このことは、日本が攻撃もされていないのにアメリカの戦争に巻き込まれることを示しています。

住民の安全安心を 脅かしています

京丹後市経ヶ岬の米軍基地は、住民が日ごろ生活している場所と密着した場所にあり。そのため、現在、騒音が大きな問題となっています。近く集落である尾和、袖志で被害を訴える声が出、防衛省、米軍が対処を急いでいますが、まだ、解決していません。また、10月に着任した米兵と軍属は、すでにこれまでに4件の交通事故を起こしました。ところが、住民への説明会は4月に開催したきり行われないうなど、情報を公開するとしていたにはほど遠い状況で、政府・防衛省の国民無視が続いています。

米軍基地ができるとどこでも被害を受けるのは日本国民です 米軍基地は日本全体で134ヶ所にも

いま世界では多くの国が米軍基地の撤去を進めています。ドイツでは「米軍再編」が進められ1989年の米軍兵力約25万人から09年には約5万人まで大幅に削減（米兵4万5千、軍属5千。家族を含めると約9万5千）。基地面積も約6万ヘクタールに半減しました。韓国でも約3分の1に兵力が削減され、約2万5千人になります。アジア諸国23カ国の中で大規模な米軍基地を維持している国は、日本と韓国だけになりました。



しかし、日本では米軍基地が拡大しています。1都1道1府26県に134ヶ所置かれ、30年前から拡大しました。青森三沢空軍基地、東京横田空軍基地、神奈川横須賀海軍基地、山口岩国海兵隊基地、長崎佐世保海軍基地、沖縄では本島の18%、全島の10%に米軍基地があります。そして京都では10月に京丹後市経ヶ岬に「米陸軍第14ミサイル防衛中隊」が入る米軍経ヶ岬通信所が発足し、12月には190人体制で本格稼働に入ります。これらの町では、爆音、騒音、女性に対する暴行、米兵犯罪、交通事故などさまざまな基地被害が生まれています。

しかも、日米地位協定によって米軍に特権が与えられ、「公務中」なら逮捕もできず、「公務外」であっても基地に逃げ込めば逮捕できず証拠固めに手間取り起訴できない事態に。起訴され有罪となつて入る「刑務所」も特別待遇です。

米軍と軍属の犯罪は多発しています。凶悪犯、粗暴犯は検挙件数の28%にもなります。2013年6月には在日米軍陸軍のマイケル・ハリソン司令官が停職処分となりましたが、これは、日本国内で起きた性的暴行事件の調査や報告を怠り、監督責任に背いた疑いがあったからです。米軍全体の2011年9月～2012年9月までの性的暴行事件は26000件で前回調査より37%も増加し米軍が米議会です謝罪する事態です。在日米軍では、この性的暴行事件以外に、交通事故、暴行、窃盗などが多発しています。

これらの基地について、日本の防衛省は「日本の防衛のため」「抑止力になる」と言っています。しかし、アメリカでは、例えば沖縄の海兵隊は「日本防衛に割り当てられていない」（歴代の国防長官）としています。京都の米軍基地については、10月22日に行われた発足式で、日本の防衛省の原田憲治防衛政務官は「日本海側のミサイル飛来に対応できるようになった」と、あたかも日本防衛のためかのような発言をしました。しかし、そもそもこの配備については、アメリカ議会では、アメリカ本土をミサイルから守るためとしています。

安倍内閣は軍拡を進めてきました。中期防衛計画（2014年から2018年）の総額は25兆円に及び、海外でも使え攻撃能力の高い武器の整備を進めています。8月には「敵基地攻撃能力」を研究・教育・訓練するための部隊を新たに編成・発足しました。これらは「海外で戦争する」能力を高める動きです。また、いま進められている日米の軍事協力をすすめるためのガイドライン改訂は、日本周辺から全世界を視野に置いたものに変えるものです。そして、7月1日に閣議決定した集団的自衛権行使容認をふまえたものにしてしようとしています。これによって、安倍政権は、来年春以降に自衛隊法などの法改正を行い、自衛隊が海外で武力行使できるようにしようとしています。

【写真は、左上から】

- 空から見た米軍基地。上の建物にXバンドレーダーが設置されており、わずかに見える。右側の林の部分が九品寺。
- 工事が進む米軍基地の様子（11月末）手前がすぐ国道。先端のテント内にXバンドレーダーが設置されている。発電機による騒音。夜間、基地内は照明がつけられ煌々とした明るさに。騒音も照明も住民生活に影響が。
- Xバンドレーダー本体。1000キロ先の野球のボール大の大きさを見分け、ミサイルを探知する。
- 2014年10月4日の「米軍基地いらない丹後集会」には1400人が参加。会場の旧宇川中学体育館はいっぱいに。集会後デモをする参加者。
- Xバンドレーダーがおかれるすぐ後ろの九品寺。一帯は国定公園で山陰ジオパークに指定されている。基地のすぐ真下が海食洞があり、自然が豊かで歴史的な遺産が豊富なところ。米軍基地では機関銃武装の警備が立ち、異様な状況に。